

平成28年度 人権連続講座

～子ども・女性・障がい者・外国人・高齢者・
同和問題や社会状況に伴う、新たな人権課題
などについて、やさしく学ぶ人権講座です～
お気軽にご参加ください。



【第1回】

9月30日（金）午後2時～4時
『きこえないからみえる世界がある』

Silent Voice代表 尾中 友哉さん

身体や表情を駆使して意思疎通を図る。これをデフ・コミュニケーションといいます。このコミュニケーション研修を受けた人の多くが、身体や表情を大切にすることからこそ、相手の気持ちに直接伝わると感じるといいます。言葉に頼ることで、すれ違いや誤解が生まれることもあります。「聞こえない」だからこそ見える世界もある。そんな世界を体験します。

【第2回】

10月7日（金）午後2時～4時
『医者への僕にハンセン病が
教えてくれたこと』

京都大学医学博士 和泉 眞藏さん

日本政府が進めていたハンセン病の強制隔離政策。講師の和泉博士は、その政策の問題点を強く主張し、1988年に入園者が国を提訴した国家賠償請求訴訟では、原告側の証人として証言台にも立たれました。医師とは何か。医療とは何か。患者への人間愛あふれる講演です。

【第3回】

10月14日（金）午後2時～4時
『孤立死防止のために
～遺品整理の現場から～』

遺品整理士 米山 智さん

社会から孤立した状態で亡くなり、長期間気付かれない「孤立死」。遺族や家族から孤立した人の家の遺品整理を任せられる仕事を通して様々なことが見えてくる。人の生き方や家族のありよう、核家族化がもたらす社会など他人事では済まされないお話がいっぱいです。

会場：いずれもクロスパル高槻

（総合市民交流センター）

7階 第6会議室

【JR高槻駅南口出ですぐ】

定員：各回先着100名

参加費：無料（1回のみ参加OK）

※手話通訳・要約筆記あり

【第4回】

10月21日（金）午後2時～4時
『ひとりじゃないよ
～子どもの貧困を考える～』

こどもソーシャルワークセンター代表 幸重 忠孝さん

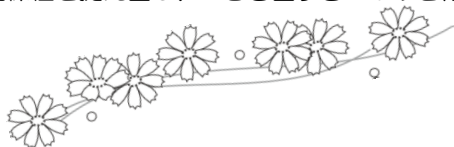
講師の幸重さんは、子どもたちをひとりぼっちにしない地域づくりに重点を置き、「すべての子どもや子育て中の家族に笑顔でいてほしい」と願い、第一線で活躍されています。現代社会に見る子どもの貧困とは……。

【第5回】

10月28日（金）午後2時～4時
『同和問題を鏡として
人権を考える』

穀雨企画室代表 渡辺 毅さん

「人権って何？」そんなことを同和問題を通してやさしく学びます。今回の講座ではワークショップも織り交ぜながら、人と人との対等な関係性を捉え直し、つむぎ直すきっかけを作ります。



主催：高槻市

企画・運営：一般社団法人
高槻市人権まちづくり協会

後援：高槻地区人権推進員企業連絡会
三島人権擁護委員協議会高槻地区委員会

問合せ先：高槻市人権まちづくり協会

☎072-674-7878